

参加者の思いは・・・

「人間らしく安心して暮らしたい」

1万3200人が参加

8月25、26日に新潟市で開催された第58回日本母親大会

に池田から5名が参加しました。大会は1955年に平塚らいてうさんたちの呼びかけで第1回大会が開かれ「生命を生み出す母親は生命を育て生命



熱気にあふれた大会フィナーレ

を守ることをのぞみます」のスローガンのもとに毎年開かれています。参加者はのべ1万3200人でした。

1日目は34のテーマの分科会やシンポジウムで話し合い・学び、2日目はジャーナリスト斉藤貴男氏の「格差と貧困のない社会を」と題した講演、全国各地からの活動報告と交流が行われました。

沖縄の現状を聞く

私は「沖縄復帰40年の現状」という分科会に参加し、米軍占領時のみならず、復帰後も続く米軍支配の実情を聞き、沖縄県民は日々命の危険にさらされているのだと感じました。また、今配備が問題になっているオスプレイの全長が27メートルであることを知りました。京都からの参加者は布地でその大き

さのものを作り、オスプレイの巨大さを「大きなヘリコプター」どころではないと痛感したそうです。

太田 幸代

連帯感あふれた交流

年金問題、原発、内部被曝などの分科会に参加した人の話も聞きましたが、実際の体験や具体的な活動に裏付けられた真剣な話し合いだったとのこと。それぞれテーマは違っても、参加者の共通した思いは「人間らしく安心して暮らした

い」でした。そして、それぞれ問題の根っこは繋がっているとも。北アルプスもオスプレイの飛行ルートのひとつ、他人事ではないぞと思います。日本中の女性・母親の共感と連帯感にあふれた交流の2日間でした。

保健師から教えられた震災の教訓

ももこの健康教室

- 1、夜間の災害に備えて
①メガネ、入れ歯は手の届くところに置きましょう。（避難後に入れ歯がなく食事がとれないケースがある）
②履きやすい靴を寝室に置きましょう。（はだして飛び出しケガをする人が多い。スリッパはだめ）
③服用している薬の説明書を持ち出せるようにしておきましょう。（救護所での処方が可能になる）
- 2、閉じ込められた時の備え
①笛、懐中電灯（小さいものが良い）を用意しておきましょう。（居場所を知らせ、助けを求めることができる）

- ②物をどかしたりする時はケガをするため軍手を用意しておきましょう。
- 3、避難する場合
①電気のブレーカースイッチを必ず切りましょう。（通電時に漏電し、火災発生につながる）
②ガスの元栓を閉めましょう。
- 4、避難所での居場所
①風の直接当たらない場所が良いでしょう。（マスク、保温シート、ホッカロンの準備）
いつ起こるか分らない災害ですが、自分の身を守る準備をしておくことは大切です。

部内資料

発行責任者 太田 勲 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)

131号
2012年9月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ

橋下語録に見る 維新八策 ハウの中



「大阪府、市の職員基本条例、をさらに発展、法制化する」と維新八策に明記されています。橋下語録を見てもみま。

「みなさん（公務員）は国民に対して命令する立場に立つんです」「組織（市役所）自体が市長の顔色をうかがわないで誰の顔色をうかがうのか」（4月2日 新規採用職員へのあいさつで）

公務員は国民に命令する立場

週刊誌、テレビ、ツイッターでこの人の顔が幅を利かせています。その人、橋下大阪市長は維新八策でいったい何をやるうとしているのでしょうか。

維新の名前から、坂本竜馬の言う国民の暮らしに目を向けた国の形を作るといふ期待があります。本当はどうでしょうか。維新八策の一部についてその基本になった、彼の言葉を紹介してみます。それを読んだ後、クイズをどうぞ。

曾根原 鈴美

元長野県知事田中康夫知事がバブリックサーバントといつて、県職員に県民への奉仕者としての意識を求めたのとは全く違った視点です。公務員を全体の奉仕者から、国民への命令者へ、その命令者を「首長の下僕にする」立場です。公務員改革といながら、首長の顔色をみながら住民の要請などに耳を貸さない行政になっ

さてクイズです

橋下氏の発言だと思つたら〇をつけなさい。

① 地方交付税廃止で消費税化する、地方は「損」する。その分は各地方で「消費税を上げるかサービスを削る」



日本共産党が発行するパンフレットをお買い求めください。
定価150円（税込）
お申し込みは最寄りの党員まで。

コラム 有明

▼「〇日〇〇地区で農薬散布を行います。ラジヘリには絶対近づかないで、洗濯物を外に出さないように、車にはシートを掛けてください。ご理解とご協力を」と無線放送が流れる。住宅のごく近くに農薬が撒かれるというのに全く情報がない。住民はどう理解すればいいのか▼農薬の定義は「殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤、除草剤などで農作物や被害を与える生物を排除する薬剤」だそう。つまり生物にとって毒なのだ。であるから農薬取締法では作物・土壌残留性、水質汚濁性など厳しく規制している▼一般家庭で使われる殺虫剤のマラソンは、有機リン系薬剤で比較的低毒性だが希釈倍数は二千〜三千倍だ▼空中散布は原液に近いような濃度とも聞く。そもそも水田の空中散布は、80年代水銀粉剤が全国的に大量散布されたため養蚕、蜜蜂、養魚など他の動植物への影響、住民の農薬中毒、環境汚染の問題が顕著化したため中止してきた経過があったのではないか。通り一遍の放送だけでなく、住民の疑問や不安を取り除く努力が必要だ